

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 令和3年2月1日

事業所名: ふあみさぼこ鹿児島南

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>				
	2 職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			配置基準を上回る職員配置を行っている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			元々高齢者施設であった建物にて開所しており、段差等がなくバリアフリーな空間になっている。	
業務改善	4 業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			業務について、1週間単位で目標を設定し、必ず振り返りを行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		<input type="radio"/>			令和2年8月に開所し、今回が初めての自己評価である。年に1度ご意見を賜りながら、業務改善に努めていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		<input type="radio"/>			今回が初めての自己評価であるため、今後ホームページに掲載していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>		現在、第三者による外部評価は未実施。今後、支援の質の向上のためにも実施を検討している。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			入職時の研修に加え、事業所内研修及び、外部講師を招いた研修等を計画的に実施している。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>				
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>				
適切な 支援の提	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			当番制にしており、主担当が決めた活動について、他の職員が意見を挙げながら立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			曜日ごとに活動内容を変えている。前回と全く同じプログラムにならないように、変化をつけている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input type="radio"/>			1日の流れを決め、そのなかで活動、余暇、食事、宿題等の時間を設定し支援している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			子どもの発達の状況や本人、保護者からのニーズに合わせて、必要な支援を組み合わせた計画を作成している。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
供	15 支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼、昼礼を行い支援の内容の共有、留意点の確認等を行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			当日の振り返りを行っているが、送迎業務等の兼ね合いで実施が難しい際には必ず翌朝振り返りを実施している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は必ず二重で確認し、個別支援計画に沿った支援の記録を残し、検証・改善へ繋げている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			個別支援計画のモニタリング時期に合わせて、保護者や本人からのご意見を頂き、計画の見直しを行っている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			入職時及び4月にはガイドラインの読み合わせを行い、理解を深め、支援している。	
関係機関や保護者との連携関係	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			利用開始前には必ず学校にて情報共有を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○			現在、医療的ケアが必要な子どもの受け入れは行っていない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			令和2年8月開所のため、実績がない。来年度の新一年生に関しては、情報共有を頂きながら、サポートしていく。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○			現在、学校を卒業する児童の受け入れ実績がない。必要時には、情報提供を実施する。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○			研修受講予定であるが、現在未受講。今後、案内があり次第参加することで支援の質の向上を図る。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○			公園等で関わりがあるが、児童クラブ等との関わりはない。保護者からのニーズがあれば検討していく。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		自立支援協議会へは参加していない。情報収集を行いながら、参加可能な場合には参加を検討していく。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳ソフトや口頭でのやりとり、受給者証のモニタリング月に合わせた振り返りシートの作成等で、情報共有を図っている。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		継続的なペアレントトレーニングは行っていないが、保護者向けの研修会等を実施している。また、相談があった際には都度対応している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	<input type="radio"/>				
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	<input type="radio"/>				
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		<input type="radio"/>			保護者からのニーズを踏まえつつ、保護者同士の交流の機会の提供が必要な場合には実施を検討していく。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	<input type="radio"/>				
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	<input type="radio"/>				
	35 個人情報に十分注意しているか	<input type="radio"/>				
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input type="radio"/>				
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			<input type="radio"/>		事業所開所時に、お祭り形式の内覧会をしたり、地域の店舗や施設を使用することで、地域に根付く施設となるよう取り組んでいる。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○			マニュアルを策定している旨は契約時にお伝えしているが、実際に目を通していただいている状況。面談室に設置し、目を通していただけるようにする。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年1回の全体研修のほか、アンガーマネジメント研修なども行っている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○				
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			保護者よりアレルギーの有無を確認しているが、現在医師の指示が必要なアレルギー症状がある方がいない状況。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			熊本県にある他事業所とも情報を共有し、事故防止に努めている。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。